

LIXIL サムラッチハンドル 交換手順書

必要な工具	プラスドライバー
-------	----------

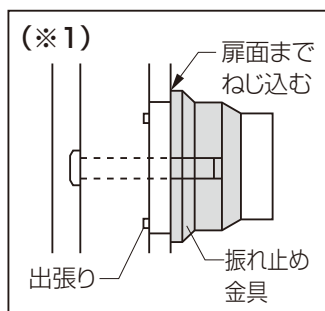
■交換手順

1. サムラッチハンドルの取外し

- ①内側ハンドルについている“ねじA”をプラスドライバーでゆるめて、内側ハンドルユニットと外側ハンドルユニットを取外してください。
- ②シリンダーユニットを取付けている室内側の“ねじB”をプラスドライバーでゆるめて、シリンダーユニットと振れ止め金具を取外してください。

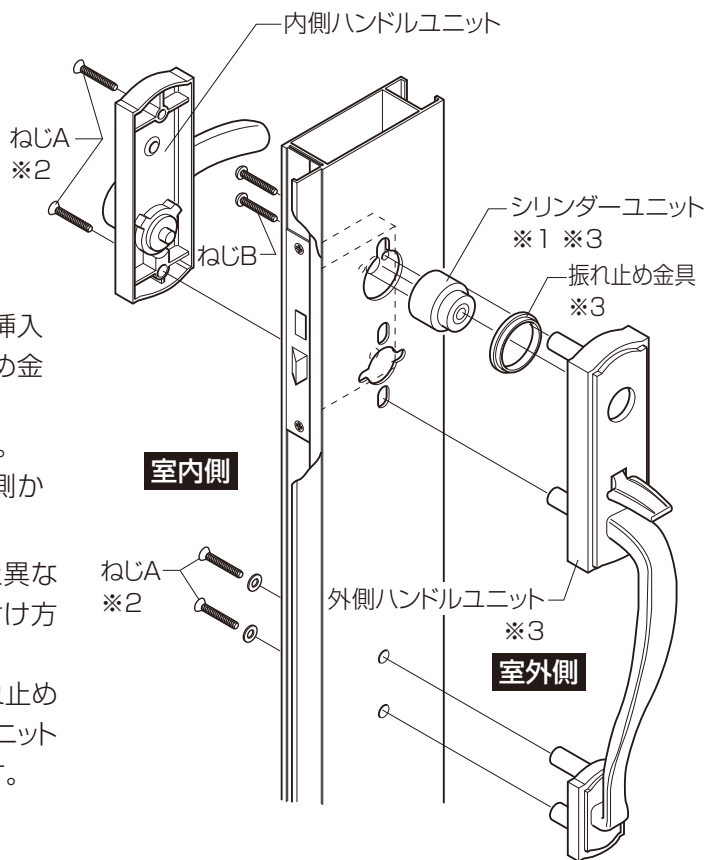
2. サムラッチハンドルの取付け

- ①シリンダーユニットを室外側から先程取外したところへ挿入して、上から振れ止め金具を取付けてください。振れ止め金具は、扉面までねじ込んでください。(※1参照)
ねじBを、室内側からプラスドライバーで締めてください。
- ②外側ハンドルユニットと内側ハンドルユニットを室内側から“ねじA”で締めてください。



※2: “ねじA”の本数は右図と異なる場合があります。取付け方に変わりはありません。

※3: シリンダーユニット、振れ止め金具、室外側ハンドルユニットは一体の場合もあります。



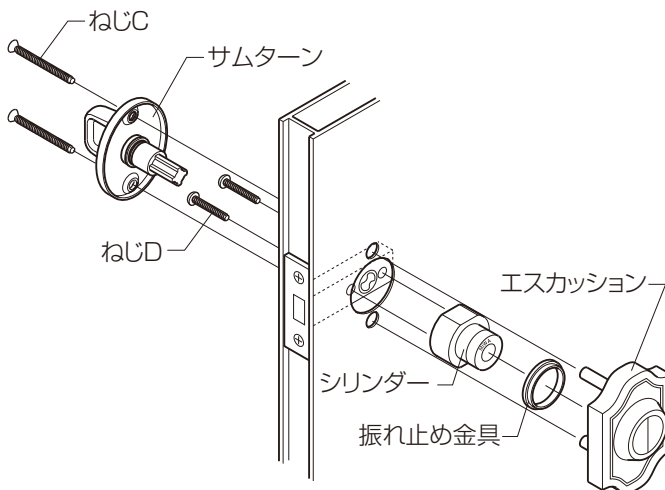
【サムターン、シリンダー(2個)が同梱されている場合】

3. サムターン、シリンダーの取外し

- ①“ねじC”をプラスドライバーでゆるめて、サムターンとエスカッションを取外してください。
- ②“ねじD”をプラスドライバーでゆるめて、シリンダーと振れ止め金具を取外してください。

4. サムターン、シリンダーの取付け

- 取外したときと逆の要領で、シリンダーと振れ止め金具 → サムターンとエスカッションの順に取付けてください。
- ※シリンダー、振れ止め金具、エスカッションは一体となっている場合もあります。



■交換後のチェック

- 扉の開閉と、施錠・開錠ができることを確かめてください。
(ねじA又はねじBを強く締め過ぎると、施開錠が固くなる場合があります。その場合は、ねじの締め付けを調整しながら確認してください。)